

令和2年 第2回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和2年2月12日

仙北市教育委員会

令和2年 第2回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和2年2月12日（水） 午後1時20分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	三浦 政喜
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
教育次長兼生涯学習課長	佐々木 幸美
教育次長兼学習資料館	
・イベント交流館長	富岡 美津子
北浦教育文化研究所 指導主事	伊藤 昭光
角館学校給食センター 所長	千葉 幸仁
田沢湖公民館長	保坂 博明
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	真崎 智明
市民会館長兼田沢湖図書館長	佐々木 信介
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 議案審議

議案第 3号	令和2年度仙北市教育行政方針について
議案第 4号	令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について
議案第 5号	仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について
議案第 6号	仙北市学校給食センター条例の一部を改正する条例制定について
議案第 7号	仙北市立幼稚園条例を廃止する条例制定について
議案第 8号	仙北市武家屋敷小野崎家条例の一部を改正する条例制定について
議案第 9号	仙北市角館伝統的建造物群保存地区管理事務所管理規則の一部を改正する規則制定について
議案第10号	仙北市社会教育委員の委嘱について
議案第11号	令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第 4号 仙北市教育行政報告について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、令和2年第2回仙北市教育委員会2月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には千代課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、坂本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

(熊谷教育長)

私の挨拶として3点申し上げます。先日の中川小学校閉校式につきましては、大変盛大で感動的な会でありました。新聞では250人の参加とありましたが、329人の参加で準備していた椅子が足りなくなり人数的にも盛り上がりました。その後のグランデールでの語る会も大盛況で各学年の同期会も開かれ非常に思い出に残る閉校式であったと思います。

次に各地区で冬の行事、小正月行事が開催されております。県内で最も冬の各行事の開催数が多いのは仙北市であると言われております。最近は各行事が縮小傾向で角館の火振りかまくらが2日間の日程が1日になったりしております。白岩城址燈火祭は今年の雪不足の影響でいつものような催しが出来ず、今回は道路サイドに燈火を設置してございました。これもまた大変美しい光景でありました。地元の方々の意気込みや国際教養大学の学生達のボランティアでの参加等、活気のあるイベントであると感じられました。

次に本日の情報交換会は文化財課の取組についてであります。伝建群保存地区の防火計画の内容です。昨年12月1日に防災訓練が実施されました。首里城の火災後のことでもあり地区住民の方々の伝建群を守る熱意が強く感じられた内容でありました。文化財課の仕事は非常に重要であると再認識させられました。

(熊谷教育長)

次に2月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

2月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。

議案第3号令和2年度仙北市教育行政方針について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

議案第3号令和2年度仙北市教育行政方針について、別紙のとおり定めるものです。

なお、要点のみの説明とさせていただきます。

前段として中川小学校と角館小学校の統合につきまして、関係者、地域の皆様、保護者に対してお礼の言葉を記載しております。次に小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から全面実施となる新学習指導要領につきまして、教科指導等の改善の具体的な姿を市内各学校に示していきます。急速な少子化に対応するためさまざまな取り組みを実施していきます。地域学校協働本部活動の推進、スポーツを介して地域と学校の交流等、教育委員会全体で児童生徒の成長にしする事業を展開して参ります。昨年の痛ましい事案につきまして、再発防

止のため教職員の管理監督、指導の強化をするとともに関係機関との信頼関係の調整に全力で取り組んで参ります。

【教育総務課】

学校教育の充実について

児童生徒の生命・身体の安全と心の健康の確保を最優先事項とし、命を守るための防災・安全教育の充実、いじめ・不登校対策、学力向上、体罰及び教職員による不祥事の絶無に重点的に取り組み、学校教育の一層の充実に努めます。

複雑で予測困難な変化が訪れると言われるこれからの社会を、他者と協働しながらも自立し、たくましく生き抜こうとする子どもの育成を目指します。そのために、生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学んだことを生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」を、幼・保・小・中学校の円滑な接続と連携により、計画的、系統的、継続的にバランスよく育む学習活動の具体的な姿を、市内各学校と協働で追求していきます。

学力向上については、4月に実施される全国学力・学習状況調査、12月に実施される秋田県学習状況調査を活用し、その結果から本市の児童生徒に求められる基礎・基本的な知識及び思考力・判断力・表現力に係る各小・中学校の課題を明確にししながら、市内小・中学校と協働でその課題解決に努めていきます。

令和2年度の小・中学校の新入学児童生徒数については、小学校が122人、前年度比21人減（令和元年度143人）、中学校が181人、前年度比34人減（令和元年度215人）が予定されています。

複式学級については、白岩小学校と桧木内小学校での発生が予想されます。白岩小学校では、2・3年生の1つの複式学級、桧木内小学校では、4・5年生の1つの複式学級が発生すると予想されることから、複式学級指導支援員を配置し、複式授業のデメリットの軽減に努めます。

学校施設の充実等について

子どもたちが一日の大半を過ごす学校は、学習や生活の場であり、豊かな人間性を育む教育環境として重要な施設です。各学校施設の整備については、少子化が急速に進む中、その必要性や緊急性を勘案しながら、計画的に推進していきます。中でも老朽化等に伴う学校施設の大規模改修は、この後の学校の在り方を充分考慮の上取り組んでいきます。

さらに、遠距離通学児童生徒の利便性と登下校時の安全・安心な通学環境を確保するために、通学路の安全点検やスクールバスの運行、各部署との連携等により通学環境の整備に努めます。

【北浦教育文化研究所】

秋田県教育庁南教育事務所並びに同仙北出張所の指導主事と連携、協力しながら、市内小・中学校の児童生徒の学力向上に向けた授業改善と教職員の資質向上に向けた指導、助言を進めていきます。市内の学校を訪問して行う授業研究会における指導、助言のほか、市内の教職員による各種研修会を開催し、教育目標の具現化と教育の質の向上に努めます。

また、不登校児童生徒への支援を行う適応指導教室「さくら教室」を運営し、2人の指導員を中心に、不登校児童生徒への対応や相談活動の充実、併せて市民や児童生徒、保護者からのいじめ事案等の相談に対しても、しっかりと対応します。

さらに、いじめや児童虐待等の悩みを抱えている児童生徒を見逃すことなく、その指導と支援を充実させるため、学校、市民福祉部、児童相談所等の関係機関との連携を密にし、迅速かつ適切に対応します。

令和2年度から全面実施となる小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語科の授業において、外国語活動指導助手2人をALT（外国語指導助手）とともに各校に派遣し、よりきめ細かな指導がなされるようにします。

【総合給食センター（仮称）】

令和2年4月から、いよいよ総合給食センター（仮称）から仙北市内小中学校に安心して安全な給食の提供を開始します。

学校給食は、学校給食法に基づいて学校教育の一環として位置づけられております。児童生徒の心身の健全な発達を図るとともに、生涯を通じた健全な食生活の実現や食文化の継承のほか、食についての習慣や知識を楽しく身につけるための学習の場でもあります。

保護者や学校との連携を密にしながら児童生徒の偏食の改善や食事マナーの向上、食文化等についての理解の深化につながる取り組みを推進し、「家族とともに歩む学校給食」を目指します。

新給食センターは、主食の米飯を、全て仙北市産の「あきたこまち」を使用し、炊きたてのご飯を提供します。副食食材は地場産物や郷土料理などを取り入れ、郷土の文化を大切に作る心を育むよう「地域と結ぶ学校給食」を推進していきます。

また、センター内を汚染区域と非汚染区域に完全に分け、衛生面の強化に努めていくとともに、食材を調理する上で後戻りしない一方通行線とすることで食の安全を確保します。更にアレルギー食についても、アレルギー専用の調理室を設け、症状にあわせて個別に料理し安心して食べられる給食を提供します。他にも、信頼される食を提供するうえで、衛生管理体制を整備し秋田県版HACCP（ハサップ）（秋田県食品衛生管理認証制度）の認証を取得し、安心して安全な心のこもったおいしい学校給食の提供に努めます。

【生涯学習課】

令和2年度は5ヶ年を実施期間とする「第3次社会教育中期計画」の折り返し年度となり、市民が自発的意思に基づいて生涯における様々な学習が行えるよう、一人ひとりの学びを支援し、互いに教え合い学び合う知の循環型社会の構築を目指して啓発活動に努めます。

地域と学校が連携・協働し、子どもたちの成長を支えながら、地域全体の教育力の向上と活性化を目的として取り組んでいる「地域学校協働活動」は、現在、角館、生保内、神代の各小学校に「地域学校協働本部」を設置し活動を行っています。令和2年度は、新たに白岩、西明寺、桧木内の各小学校に協働本部を設置し、市内全小学校区における協働活動を推進します。

「花いっぱい運動推進事業」の「にしきのフラワーロード一斉植栽」では、例年、市民や関係者の協力により国道105号沿い約4.6kmに植栽されたマリーゴールドが、本市の風物詩として好評をいただいています。また、市内全域を対象に行っている「マリーゴールドの花苗配布」についても、今年も5月下旬に実施し、花のある住みよいまちづくりの一環として推進します。

子どもたちの豊かな表現力やコミュニケーション能力向上と、その環境づくりの一環として行っている「子ども演劇体験支援事業」では、市と包括連携協定を締結している「わらび座」の協力のもと、「演劇体験講座」として小学生から中学生を対象に実施してきました。令和2年度は、対象範囲、受講日数、演劇発表の場を設けるなど、各関係機関と連携しながら事業の拡充を図ります。

【公民館】

公民館は、地域における総合的な社会教育施設であり、市民が自由に気軽に学習出来る環

境を整える役割を担っています。市民の価値観も多様化する中、古くからの文化継承を軸とした事業の拡充や、その時代に即した新たな事業を展開することで、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興等を図ります。

また、中央公民館設置については、誰もが自発的に自分に合った学習に取り組み、地区を超えた学習参加により市民の交流が図られる活動拠点となるよう整備を推進します。

併せて、学校・家庭・地域が連携して子ども達を育てる地域学校協働活動の推進、市内の認定こども園・保育園・小中学校・高等学校・大曲支援学校せんぼく校との連携強化に取り組みます。

【市民会館】

好評を得ております自衛隊音楽隊コンサートやロビーコンサート等を引き続き開催していきます。また、市民の活発な文化活動を促し、誰もが気軽に足を運びたいくなるような会館となるよう努めます。

施設は老朽化が著しいことから、順次改修を進め、施設を訪れる全ての方々に、安全かつ快適に利用していただけるよう、適切な管理に取り組んでいきます。

【田沢湖図書館】

図書館サービスの重要な要素である図書資料については、利用者のニーズや時代に即した選書に努め、より魅力ある蔵書構成を心がけ、資料の迅速な提供と、あらゆる年代の利用者に図書館の楽しさや役割を周知し、読書普及を図っていきます。

また、好評を得ております「おはなし玉手箱」、「とことこタイム」、「朗読コンサート」等のイベントを継続し、図書館の複合的な魅力を発信していきます。

【学習資料館・イベント交流館】

令和2年は、地域に図書館を開設して100周年、また新潮社記念文学館開館20周年を迎える節目の年にあたります。先人の努力と業績に感謝をしつつ、地域の皆様の読書環境の充実と、郷土の優れた文学の更なる周知に努めます。

学習資料館では、郷土資料の収集を推進し、地域の歴史や文化を後世に伝え、研究あるいは郷土を知ることを楽しむ利用者のお手伝いをします。市内小中学校の学校図書館を通じて、児童生徒に対して図書資料を利用した学習を支援するとともに、読書好きの子どもが増えるよう環境を整えます。

イベント交流館に常設している新潮社記念文学館では、角館町割400年を記念した藩政時代からの資料展と、地域の図書館開設100周年、文学館開館20周年を記念した企画展を開催します。地域の皆様に親しんでいただける、工夫した楽しい展示を行う予定です。常設展示では「高井有一書斎」他、館内の展示内容の充実に努めます。

【スポーツ振興課】

東京オリンピックの聖火リレーについては、6月9日に角館桜並木駐車場を発着会場として、日本の歴史と文化が色濃く感じられる武家屋敷通りを走る、約2.2キロのコースをリレーすることとなっています。

東京パラリンピックを応援する聖火フェスティバルについては、秋田県内各市町村で行われます。仙北市では8月15日に白岩雲巖寺で「白岩ささら奉納舞」により清められたかがり火から、「仙北市歴史文化の火」として採火の予定です。この炎は、8月17日に秋田県で一つとなり東京に送られます。東京に集められた全国の炎はパラリンピック聖火となり4日間リレーされ、8月25日の開会式で聖火台に灯されます。

タイ王国とのホストタウン事業については、MOU締結をひとつの契機として捉え、競技種目にとらわれることなく、幅広く人的・文化的相互交流が図られるよう、事業展開をしていきます。

35回目の開催となる田沢湖マラソン大会は、今年は9月20日に開催されます。毎年全国各地から約5,000人の参加を得て開催しており、ここ数年は海外からの参加者も増えてきています。台湾高雄市との友好交流をますます充実させ、国際的なマラソン大会を目指していきます。

フリースタイルスキーワールドカップモーグル競技は、これまで培った経験やノウハウを活かし、これまで以上に盛り上がる大会を目指します。また、秋田県と共催で実施しているジュニアキャンプを引き続き開催し、次世代選手の発掘、育成に力を入れながら競技への関心を高めていきます。

第7回目を迎える「秋田25市町村ふるさとあきたラン！」については、10月10日、11日に角館を主会場として、市内を循環するコースで開催します。この大会は、県内全ての市町村が一堂に会し、市町村を代表する選手による駅伝大会を開催することにより、「元気で賑わいのある秋田」の実現を図るために開催されており、開催市として全力で準備・運営にあたりたいと考えています。

市民の健康づくりを進めるため、日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや、スポーツを楽しむ機会を提供するため、スポーツ推進委員の指導・助言を得ながら、生涯学習、健康づくり事業との連携を図り、合わせて体育施設の適切な維持管理に努め、市民スポーツの推進、健康づくりを図っていきます。

【文化財課】

仙北市一帯に残されている貴重な文化財の発掘、保存、活用に努めるとともに、北浦地方の悠久の歴史をご理解いただけるよう、歴史関連事業等を広範囲に、積極的に展開します。

令和2年は、現在の角館の町並みが創られてから、400年となることから、8月に町割400年記念シンポジウムを開催する予定です。広く市民の皆様とこれからの角館の町並み保存と活用について考える機会にしたいと考えています。

平成27年度から年次計画により実施している、伝統的建造物群保存地区防災施設整備事業は、令和2年度に現在の角館庁舎北側にあたる、Dブロックのエリア整備を行います。これで防災施設の整備事業が完了することになります。

重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業について、平成29年度から継続している河原田家の修理工事は、令和2年度に米蔵の改修工事を行い完了となります。令和3年度から一般公開が出来るように準備を進めます。また、武家屋敷通りの板塀について現況調査を行い、修理が必要な箇所を把握するとともに今後の修理計画をまとめます。

仙北市の花「サクラ」について、天然記念物・角館のシダレザクラと名勝桜木内川堤等のサクラの適正な樹木管理のため、角館のサクラ保存管理協議会や、関係部署と連携し継続して管理に努めていきます。

「角館祭りのやま行事」は、今後も角館のお祭り保存会を中心に、伝統文化の継承と保存に取り組むとともに、更に安全で格式あるお祭りを目指し、関係者や市民の皆様と共に取り組みます。

【角館町平福記念美術館】

令和2年は角館の町割400年の年になることから、角館の歴史に関連した展示を始め、仙北市内外の方々に広く親しんでいただける企画展を計画しています。

「春のコレクション展(仮題)」では、今まで寄贈していただいた館蔵品の中から、角館の

春を表現した日本画、洋画、写真など約60点を展示します。角館出身の洋画家・渡辺浩三の没後40年を記念して「没後40年渡辺浩三展」を令和元年にご遺族から寄贈された作品を交えて展示予定です。「町割400年記念展平福穂庵とその弟子たち（仮題）」として、穂庵一門の日本画作品及び町割絵図や資料の展示を行います。

また、角館出身の若手日本画家「山田美知男日本画展（仮題）」、「郷土画人の屏風展（仮題）」、「児童生徒県南美術展」、「館蔵品・寄託品展」等を開催する予定です。

今後も美術館においては、仙北市にゆかりのある作家を中心とした企画展示を行い、多くの方々から気軽に芸術作品を鑑賞していただけるよう創意工夫に努めていきます。

（熊谷教育長）

議案第3号令和2年度仙北市教育行政方針について、質問はありませんか。

（坂本委員）

総合給食センター（仮称）の職員配置数及び栄養教諭さんの配置はどのようになるのでしょうか。

（浅利教育次長兼教育総務課長）

現在、職員数の内示はありませんが、所長、職員3人、臨時職員、栄養士という構成になると思われますが、まだ配置等について、市長部局側と折衝は行っておりません。

（三浦教育次長）

栄養教諭については、現在3センターに3名配置となっておりますが、総合給食センターとなった場合は、食数で基準が定められており2名ということになります。予定としては、神代小学校と角館中学校に各1名の配置される予定となっております。

（安部教育長職務代理者）

以前も伺ったかもしれませんが、3ページに記載の学校施設の大規模改修等についての見通しを教えてください。また、6ページに記載されている中央公民館設置について、令和3年に稼働予定と私の認識ではありますがどうなのでしょう。8ページの文化財課の記載についてですが町割400年記念シンポジウム、伝建群整備、桜等の内容となっておりますが、いつも申し上げていることですが、仙北市全体の文化財保護という観点を1文付け加えていただきたい提案です。

（浅利教育次長兼教育総務課長）

学校施設等の改修につきましては、予算の時も説明致しましたが生保内小学校を中断致しました。来年度、令和2年度に長寿命化対策のために計画表を策定する年度とします。補助金請求等に必要になるためです。策定内容はコスト面だけではなく、地域での学校の在り方等を含んだ計画表を策定した後、工事関係の計画に進んで行きたいと考えております。

（佐々木教育次長兼生涯学習課長）

中央公民館設置につきましては、令和3年度を目途に設置を考えており令和2年度につきましては関係する条例規則等の改正、運営等について検討して参りたいと考えております。

（富木文化財課長兼平福記念美術館長）

提案内容を取り入れて記載させていただきます。

（安部教育長職務代理者）

文化財を守るという文言を強調して記載していただきたいです。

（富木文化財課長兼平福記念美術館長）

わかりました。

（熊谷教育長）

他に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第3号令和2年度仙北市教育行政方針について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第4号令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第4号令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について、別紙のとおり定例会に提案するものです。概要につきまして説明させていただきます。1月定例会で当初予算の説明をさせていただきました。2月5日に内示がありましたので要求時と大きく変更があった部分につきまして説明させていただきます。

教育総務課についてです。どの事業もギリギリの額で査定を受けております。今後の不足等については流用、補正対応で進めて参りたいと考えております。概要の1ページをご覧ください。10款1項2目仙北市学校施設長寿化計画策定事業費については、970万円の要求に対して548万7千円の査定を受けております。当初要求に対して60%の予算となっております。3ページをご覧ください。小学校諸工事費についてですが、24,700千円の査定を受けておりますが、この部分については生保内小学校のエアコン工事も含んでおります。当初要求に対して47%の予算となっております。教育コンピューター推進事業費については47,551千円で小学校のデジタル教科書について、900万円程の予算となっております。中学校諸工事費については、こちらも小学校諸工事費と同様に当初予算に対して12,307千円の約56%の予算となります。各小学校については、管理費等の予算査定となります。6ページをご覧ください。JFA 夢先生招聘事業費については小中学校とも要求しましたが、どちらか一方の予算となっております。次に富士河口湖町子ども交流事業費については、前年度まで企画政策課の予算で推進しておりましたが、実際に動くのが北浦教育文化研究所の事業であり企画政策課からの所管替えで524万円の予算となっております。

どの事業についても限られた予算ではありますが、最大の効果を上げるよう取り組んで参ります。

(千葉角館学校給食センター所長)

7ページをご覧ください。総合給食センター分の予算概要です。3センターの統合後によるもので要求通りの査定を受けております。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

8ページをご覧ください。歳入については、要求通りとなっております。歳出につきましては、子ども演劇体験支援事業費については要求通りの査定であり、前年度は14万円でした。今年度、教育行政方針でも述べさせていただいたように対象の年齢を広げまして開催日数等や事業の充実を計ることとして多く予算をつけていただいております。9ページをご覧ください。10款5項7目勤労青少年ホーム管理運営費については、1,0319千円の要求に対して半分以下の査定となっております。室内運動場の屋根の雨漏りがひどくなっており改修に400万円程かかり、こちらがメインとなっております。少ない予算ではありますが生涯学習の活動推進に取り組んで参ります。

(保坂田沢湖公民館長)

10ページをご覧ください。要求額通りの査定を受けております。歳入は省き歳出については、歳出の管理運営費内で会計年度任用職員に係る報酬、公用車入札経費等が主なものであります。

(佐々木角館公民館長)

11ページをご覧ください。歳入については記載のとおりです。歳出の管理運営費内の主なものは会計年度任用職員に係る報酬になります。他事業についても若干の減額査定とな

っております。

(真崎西木公民館長)

12ページをご覧ください。歳入については記載のとおりです。歳出については合計で前年度比で48千円の減額査定を受けております。

(佐々木市民会館長兼田沢湖図書館長)

13ページをご覧ください。歳入につきましては要求通りの査定となっております。歳出の管理運営費、維持管理経費については、461千円の減額査定となっております。

次に田沢図書館についてです。14ページをご覧ください。歳入につきましては要求通りの査定となっております。歳出の管理運営費については、備品購入が主なものです。図書館サービス拡充事業費については、会計年度任用職員4名分の経費等になっております。

(富岡教育次長兼学習資料館・イベント交流館長)

15ページをご覧ください。歳入については省略させていただきます。歳出の学習資料館管理運営費については財政側との折衝で旅費を削り、公用車リース料を計上し査定を受けております。学習資料整備費の図書については毎年5百万円の要求をしておりますが、3百万円の査定となっております。次に学習資料館利用促進費と学校図書館支援事業費につきましては、非常勤職員が会計年度任用職員になるための人件費等が主なものです。現在4名の人員ですが1名分多い査定を受けております。子ども読書活動推進事業費の図書購入につきましては、中川小学校閉校分による減額査定となっております。イベント交流館展示費については文学館での展示を1つマイナスとしたため減額査定となっております。

(伊藤スポーツ振興課長)

16ページをご覧ください。歳入の県負担金・社会教育費負担金2,611千円を計上しております。今年度ホストタウン等の文化スポーツ関係事業については特別交付税等で入ってくる予定のものが来年度予算では秋田県が2分の1を負担し県が仙北市に納付するシステムになり増額されたのが大きな変更点です。雑入については要求概要時に述べたように神代地区スポーツクラブ活動支援に係る補助金終了に伴う減額となります。次に17ページ歳出についてです。要求した際に精査したこともあり、査定を受けた際にも大きな変更はありませんでした。予算額と査定額がほぼ同額となっております。各負担金、補助金についても要求額通りの査定となっております。18ページをご覧ください。FIS モーグルワールドカップ負担金については秋田県も2021年も大会を実施したい意向であり市も予算要求したものであります。東京2020大会聖火リレー開催事業負担金については、予算要求概要時に説明しましたが、開催に係る運営経費の負担については各種設備等に係る経費については県と市町村が2分の1づつ負担することになっており現在事業について精査しており4,310千円より少なくなると思われませんが、予算要求時に県が仙北市に示した金額であり要求し査定を受けたものです。体育施設費については施設の維持に係る部分で要求時点では修繕箇所が多く、修繕内容を精査しながら優先順位的に査定を受けました。各管理運営費については前年度から比べ減額査定となっておりますが、市民野球場管理運営費については前年度比で1,000千円程多く査定を受けております。これについては、旧角館東小学校グラウンドが使用出来なくなったことにより雲然野球場整備に係る予算要求を行い前年度と同額に近い査定となっております。玉川河川公園管理運営費についても1,500千円増額査定となっております。芝生の管理に苦慮しており維持管理に係る経費を要求したものです。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

19ページをご覧ください。歳入の重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金については昨年度より20,000千円程の増額となっております。河原田家の米蔵改修工事費分となり事業費の65%が補助金となっております。一般補助施設整備等事業債については

予算概要説明時には記載はありませんでした。市の負担財源が厳しいということで工事費（事業費）の膨らむ部分を事業債でまかなうことで財政側と協議し追記しました。歳出については要求した額で精査していただいております。武家屋敷公開管理事業費については、昨年度より増額となっておりますが他課同様に会計年度任用職員になるための人件費等によるものです。20ページをご覧ください。重要伝統的建造物群保存地区保存事業費については歳入で説明しました理由で増額となっております。伝建群防災施設整備事業費については防火水槽等の工事がなく、放水銃、配管等の設置のみで工事費が下がるため減額となっております。町割400年記念事業費については1,700千円程の査定を受けており、フォーラム等の開催を予定しております。負担金、補助金等については要求通りの査定を受けております。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

21ページをご覧ください。平福記念美術館についてです。歳入の美術作品等購入基金繰入金については基金全額を繰入れると要求していましたが、基金全額取り崩すと財政調整基金の比率が変わると困るということで一部の6,000千円を購入資金として繰入れることで調整していただきました。歳出については常設・企画展示費の金額が増えておりますが、歳入でも説明しましたが必要な購入したい作品が出た場合に購入することであり全額使用することではありません。冷温水発生機更新事業費については毎年要求しておりますが財源的に厳しいということで新年度は点検の経費を付けていただきました。また、以前からお願いしている電気のキューピクル取り換え工事についても付けていただきましたので来年度以降、暖房の取替工事等は状況をみながらということになり0査定となっております。

(熊谷教育長)

議案第4号令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について、質問はありませんか。

(橋本委員)

生保内小学校のエアコン設置工事について予算が付いたとのことですが、設置教室等の概要を教えてください。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

エアコン設置工事については、普通教室と特別教室の計10教室の設置を予定しております。機種については、取り外し可能な一般家庭用のものを想定しております。

(熊谷教育長)

それでは、議案第4号令和2年度仙北市一般会計予算の教育費について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第5号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

3ページをご覧ください。議案第5号仙北市基金条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものです。4ページをご覧ください。新年度も角館感恩講様より15万円の寄附の申し出があり、第3条第2項の表仙北市育英奨学基金の項積立額の欄中「29,868万円」を「29,883万円」に改めるものです。5ページが新旧対照表となります。

(熊谷教育長)

議案第5号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について、質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第5号仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第6号仙北市学校給食センター条例の一部を改正する条例制定について説明

を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

6ページをご覧ください。議案第6号仙北市学校給食センター条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものです。7ページをご覧ください。改正文になっておりますが現在まで3つのセンターを「仙北市総合給食センター 仙北市西木町西荒井字番屋175番地」に改めるものです。また、第3条中の「仙北市学校」、第4条中「学校」を削るものです。8ページをご覧ください。この条例の施行に基づいて「仙北市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部改正につきましても併せて行うものです。この特別職の中に学校給食センター運営委員会とありますが総合給食センター運営委員会に改めるものです。9ページが新しい条文となり11ページが新旧対照表となります。12ページからは「仙北市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例」の条文で21ページに総合給食センター運営委員会の委員と記載があり、この部分の改正となり、23ページが新旧対照表となります。

(熊谷教育長)

議案第6号仙北市学校給食センター条例の一部を改正する条例制定について、質問はありますか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

議案第6号仙北市学校給食センター条例の一部を改正する条例制定について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第7号仙北市立幼稚園条例を廃止する条例制定について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

24ページをご覧ください。議案第7号仙北市立幼稚園条例を廃止する条例を別紙のとおり制定するものです。25ページが廃止する条例条文で令和2年4月1日から施行するものであります。現在、田沢幼稚園の建物等が残っております。これにつきまして田沢地域の方々とも相談し、また、幼稚園に入園する児童も見込めないということで廃止するという事で上程するものであります。

(安部教育長職務代理者)

廃止についてはやむを得ないかと思いますが、施設の後利用の計画等がありますか。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

幼稚園等については子育て推進課が担当しております。設置や条例等について教育委員会が担当しております。今回は条例の廃止ということで議案として定例会に上程するものであります。後利用の計画等については現在、何も情報はありません。

(熊谷教育長)

それでは、議案第7号仙北市立幼稚園条例を廃止する条例制定について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第8号仙北市武家屋敷小野崎家条例の一部を改正する条例制定について説明を求めます。

(佐々木角館公民館長)

27ページをご覧ください。議案第8号仙北市武家屋敷小野崎家条例の一部を改正する条例を別紙のとおり制定するものであります。28ページには改め文を記載しております。小野崎家条例につきましては、昨年の消費税率引上げに伴う使用料の条例改正が行われなかったため、今回改正するものであります。また、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律も併せて追加し改正するものであります。29ページが新旧対照表となります。

(熊谷教育長)

議案第 8 号仙北市武家屋敷小野崎家条例の一部を改正する条例制定について、質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

議案第 8 号仙北市武家屋敷小野崎家条例の一部を改正する条例制定について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第 9 号仙北市角館伝統的建造物群保存地区管理事務所管理規則の一部を改正する規則制定について説明を求めます。

(冨木文化財課長兼平福記念美術館長)

30 ページをご覧ください。議案第 9 号仙北市角館伝統的建造物群保存地区管理事務所管理規則の一部を改正する規則を別紙のとおり制定するものであります。31、32 ページに全面改正を記載しております。33 ページが新旧対照表となり主な改正点は小野崎家と同様に暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の追加、消費税率引上げに伴う使用料の条例改正、条文の見直し等を行い追加記載しております。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第 9 号仙北市角館伝統的建造物群保存地区管理事務所管理規則の一部を改正する規則制定について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第 10 号仙北市社会教育委員の委嘱について説明を求めます。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

39 ページをご覧ください。仙北市社会教育委員に関する条例第 2 条の規定に基づき、仙北市社会教育委員を別紙のとおり委嘱するものであります。40 ページをご覧ください。資料の訂正をお願い致します。委員名簿欄、右上に(敬称略、地区別五十音順)と記載がありますが削除願います。令和 2 年 2 月 20 日から令和 4 年 2 月 19 日までの 2 年間の任期とする社会教育委員(案)となっております。今年 1 月下旬に任期満了に伴う意向調査で 3 名の委員から退任したい申し出があり、名簿番号 13 番から 15 番までの 3 名の方を新規に委員に委嘱したいと考えております。13 番の田村忍さんは、学校教職員を退職され現在、無職であり前任の広川浩子さんの後任となります。14 番の武藤博夫さんは、西木地区で営農されており前任の浅利重昭さんの後任となります。15 番の木元哲さんは現在、神代中学校の校長先生を務めておられます。前任は、桧木内小学校長の門脇伸子先生でありましたが、2 年の任期内に退職をしてしまうということで今回、木元校長にお願いすることに致しました。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第 10 号仙北市社会教育委員の委嘱について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第 11 号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第 11 号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について、別紙のとおり定例会

に提案するものとありますが現在、内示になっておりません。今回の定例会に議案とするところですが、1月の定例会で要求概要の説明をさせていただきました。内容につきましては、ほとんどが事業確定による減額補正でありましたので本日、財政課に確認を致しました。教育委員会分につきましては、変更なしと伺っておりますので今回は説明を省かせていただきますが、後日補正予算が内示された時点で改めて概要を作成し、委員の皆様へ送付させていただきたいと考えております。

(熊谷教育長)

後日の対応をよろしくお願い致します。

(熊谷教育長)

次に報告事項に入ります。報告第4号仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

報告第4号仙北市教育行政報告について、令和2年第2回仙北市議会定例会において別紙のとおり報告するものです。別紙の教育行政報告をご覧ください。

令和2年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

はじめに、1月30日開催の市議会臨時会において、生保内中学校教職員の不祥事に関し、私の責任の取り方を報告させていただきました。その際、議員の皆様から多くのご意見、ご指摘をいただきました。このご意見等を真摯に受け止めるとともに、仙北市全体に与えた影響、事の重大さを再認識し、教育委員会委員の意見も伺い、自身の責任の取り方を再考させていただきました。この結果、給与10分の1、3ヶ月を自主返納することとしておりましたが、更に3ヶ月延長し、給与10分の1を6ヶ月自主返納することといたしました。

議員の皆様には何とぞご理解くださるようお願い申し上げます。

それでは、諸般の状況を報告します。

【教育総務課】

◇文化、芸術面等での児童・生徒の活躍について

1月26日、仙台サンプラザホールで開催された、第23回マーチング&バトン オンステージ東北大会のコンテストの部ステージパフォーマンス部門で、神代小学校器楽部が、銀賞を獲得しました。

令和元年度読書感想文コンクール秋田県地方審査の課題読書の部で西明寺中学校3年の佐藤鈴音（さとう りん）さんが、最優秀に当たる秋田県教育長賞に、同じく3年の佐藤紋音（さとう もん）さんが自由読書の部で優良賞に輝きました。佐藤鈴音（さとう りん）さんは、第65回青少年読書感想文全国コンクールの課題読書の部でも、優良作品に当たる全国学校図書館協議会長賞を受賞しています。

◇中川小学校閉校式について

2月9日、今年度で144年の歴史に幕を閉じる中川小学校の閉校式が、中川小学校体育館において、来賓、関係者、在校生、同窓生、保護者や地域の方々など300人を超す皆様が参列の下、盛大に挙行されました。

式典終盤の児童による、呼びかけ「ありがとう中川小学校」が披露され、参列者の校歌斉唱により、会場は大きな感動に包まれました。長年にわたり地域の皆様から愛され、地域の拠点として大きな役割を果たしてきた中川小学校の確固たる歩みが、参列者の心に深く刻まれ、いつまでも心に残る閉校式典となりました。関係の皆様へ、心から御礼申し上げます。

◇青山学院大学との交流活動について

2月13日から16日までの4日間、青山学院大学の学生・引率者8人が仙北市を訪れ、冬季交流プログラムを行いました。参加者はひとり暮らし高齢者宅の除雪作業、田沢湖高原

雪まつりの準備作業のボランティア活動、武家屋敷岩橋家で行われている角館の冬がたりの見学等、雪国の暮らしや風習を体験しました。

この冬季交流プログラムは、雪に触れたボランティア活動等を通じ、年々市民との交流が広がりを見せており、毎年楽しみにしているひとり暮らし高齢者もいます。今後も冬期の様々なメニューを展開することで、より一層交流を深めたいと考えています。

【生涯学習課】

◇仙北市総合美術展について

2月4日から16日まで、角館町平福記念美術館において「第9回仙北市総合美術展」を開催しました。

毎年仙北市で芸術活動をされている方々が日ごろの生涯学習活動の成果を発表する場として定着しており、今回は角館高等学校の生徒の作品11点を含め、152人と2団体から絵画、書、写真、工芸、手芸作品など166点の出展がありました。

会期中は687人の来場者があり、多岐にわたる力作を熱心に鑑賞し、出展者との交流も図られるなど有意義な美術展となりました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇読書感想文コンクールについて

令和元年度仙北市読書感想文コンクールを開催し、市内各校から選抜された144点の応募作品から35点の入賞作品を決定しました。最優秀賞の仙北市長賞は、小学校・中学校の部で、生保内小学校1年中村恭一（なかむら きょういち）さん、高校の部で、角館高等学校3年藤岡莉子（ふじおか りこ）さんに輝きました。教育長賞には、西明寺小学校3年藺藤秀さん（いとう しゅう）さん、同じく6年の畠山紗依（はたけやま さえ）さん、角館高等学校3年の高橋柚那（たかはし ゆうな）さんが入賞しました。

2月16日開催の表彰式では、仙北市長賞、教育長賞、奨励賞、入選の児童生徒一人ひとりに賞状を授与しました。

株式会社新潮社から新潮文庫賞が、西明寺中学校2年の佐藤優美（さとう ゆうみ）さんと、角館高等学校3年の石郷岡麟（いしごうおか りん）さんに、角館図書館後援会長賞が神代中学校2年尾樽部こころ（おたるべ こころ）さんと、角館高等学校3年高橋優日（たかはし ゆうか）さんに贈られました。

【スポーツ振興課】

◇高雄国際マラソンの中止について

2月9日に開催を予定していた「第11回高雄国際マラソン」は、新型コロナウイルスの影響で大会が中止となったことから、市民ランナーの派遣を取りやめました。派遣予定だった3人のランナーには、来年の大会に参加していただけるよう対応していきたいと思えます。

◇2020フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について

2月15日と16日、たざわ湖スキー場において、「第40回全日本スキー選手権秋田たざわ湖大会フリースタイル競技モーグル・デュアルモーグル種目」が、男子59人、女子34人の参加のもと開催されました。

たざわ湖スキー場では初めての開催となったこの大会は、15日にモーグル種目、16日にデュアルモーグル種目を行い、日本のトップ選手の滑りを間近に見ることが出来ました。

また、この大会はFISオープン大会を兼ねていたこともあり、北京オリンピックを控えた中国からのジュニア選手も出場し、難コースに果敢にチャレンジする姿が見られました。

大会開催にあたり、雪不足のなか、雪の運搬やコース整備等にご尽力いただいた関係者の

皆様に深く感謝申し上げます。

【文化財課】

◇おやま囃子芸能発表会について

2月11日、角館交流センターにおいて、角館のお祭り保存会主催による「第25回おやま囃子芸能発表会」が開催されました。14団体が出演し、角館のお祭りで奏でられるお囃子と手踊りが披露されました。

この発表会は、おやま囃子の保存・継承を目的に毎年開催しているもので、当日は、伝統芸能の囃子や踊りを鑑賞鑑賞しようと市内外から約800人の観客や参加者が会場に詰めかけ、大いに盛り上がりました。

◇国指定名勝桧木内川堤「サクラ」のウソ対策について

国の名勝に指定されている桧木内川堤のサクラについて、ソメイヨシノ花芽食害防止と景観保全を目的として、今年も2月1日から3月1日までの30日間、角館猟友会に委託し、ウソの有害鳥獣捕獲を行っています。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

次にその他の時間とします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(伊藤北浦教育文化研究所指導主事)

1月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

小学校が5件、中学校はありませんでした。

1月は冬休み明けの様子を見取ることもあり教職員の気付きから把握した件数がほとんどでした。年度末に向かって、些細なことであっても子供たちの様子を見守り、気付き、指導していく体制を意識していきたいと思います。

次に1月の不登校についてです。

前月より継続の児童生徒について、小学校は2名、中学校は18名です。新規と捉えられる児童生徒はいません。

以上、1月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷教育長)

1月の報告事案について、質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

ホームページ公開についてですが、字消し部分は削除し、アンダーライン部分を追加書きし、その他の部分はそのまま市ホームページに掲載させていただきます。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。

(熊谷教育長)

他にありませんか。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

昨日、委員の皆様にご第2次仙北市こども読書活動推進計画(案)をお配りさせていただきました。関係部署に対しても配付し確認いただいているところです。一読いただき、お気づきの箇所等がありましたら2月27日まで生涯学習課へお知らせ下さるようお願い致します。

(熊谷教育長)

次に情報交換会に入ります。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

—資料により説明—

(熊谷教育長)

それでは、以上で令和2年第2回仙北市教育委員会2月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後2時47分)